

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市沢川町三丁目5番地7
(沢川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



「何年か前」
翻訳できない世界のことば」
という本が日本でも刊行され話題になった。アヒア語から「グルア」と発音する語を取り上げている。「片方の手のひらにのせられるだけの水の量」という意味で、単位のようなものだろう。確かに日本語や英語に見えない。水を大事にする砂漠の人の繊細な感覚がにじむように思える。新天皇陛下は「千代や水宮など水問題を」と

ライフレックと位置づけられ昨午南米で基調講演の大後も「扱われた」とえ手のひらですく、あじろ水が少い時がありがたしとしても国民は優しそ風存することである。元号のいわれが示すように「まごもやかな皇室を育まれること也。」



一年に5月下旬まで、温し4月中旬までに赤い咲いた花が「星嶺」

2019/04/11

外食大手のすかいらいくオムライスが「過日全廃する方針を決めた」



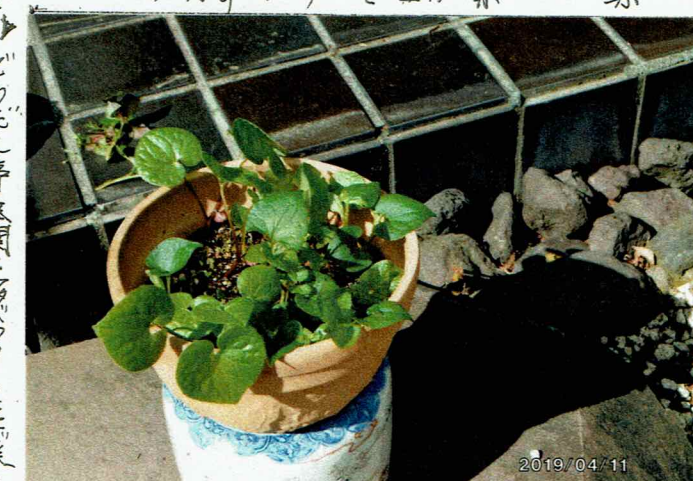
森林公園の南門入口から200m離れた公園にあるヒガンバナ。

「いさなキャンペーン」が最後には人々の心に残るのだ。」
今私達はいさな花を咲かせる自立ない植物を育てる保育園に置き園児が一生懸命花育に協力努力してきます。
この活動がやがては植物だけでなく道路や小川の汚れたゴミを削減する力になるのです。海洋ごみ削減活動は川からはじめることが私達の活動の中心になるのです。



2019/05/08

「生分解生ストロー」に切り替えた



2019/04/11

「どうしたん亭玄関」に「バード」に花が咲く
令和に入るとホテルなどのフロントホテルは宴会場などで使用するストローを「生分解生ストロー」に切り替えた